

第 20 回広島県中学高校卓球大会 競技上の注意

審判長 中元 孝司

1. 適用ルールについて

- (1) 現行の日本卓球ルールを原則として適用する。
- (2) 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会登録のゼッケンをつけること。
- (3) 使用球は JTTA 公認球〈ニッタク、バタフライ、VICTAS〉とする。
- (4) 試合前の練習は 1 分以内とし、ゲーム間、タイムアウトもすべて 1 分以内とする。
- (5) ラリーとラリーの間を取りすぎることはバッドマナーとなるので、速やかにプレーに入るようにする。
- (6) アドバイザーのベンチ入りは男女ともベスト 16 決定（男子 4 回戦，女子 3 回戦）より認める。

2. 進行・審判について

【進行】

- (1) 第 1 試合は男子 1 回戦 (BS101~BS140) から行う。その中で選手の棄権があった場合は、BS141 以降の試合を棄権があったコートに随時入れる。
- (2) 男女ベスト 16 決定戦くらいまでベンチコール方式によって進めていく。選手番号でコールされるので呼ばれたら、待機場所に集合し、敗者審判と一緒にコートに移動する。
- (3) 男女ともトーナメント方式でベスト 4 決定までを行う。

【審判】

- (1) 第 1 試合の審判は、男子の 2 回戦からスタートする選手 (BS201~BS240) で行う。(試合番号の下 2 桁が担当するコート番号となる。) 審判にあたっている選手の棄権があった場合は、BS241 以降の選手で割り振る。
- (2) 第 2 試合目以降は、敗者審判とする。試合で負けた選手は、試合結果とバインダーを進行席へ持ってくる。
- (3) 男女ベスト 8 決定戦以降は、敗者 2 名で審判を行うので協力してください。

※ 第 79 回国民スポーツ大会卓球競技（少年・少女の部）広島県予選について

日時：6 月 29 日（日）8 時～準備、準備完了後より練習開始

場所：シシンヨーオークアリーナ

方法：男女ともリーグ戦により順位を決定する。

その他：選手 1 名につき 1 名の審判員を帯同させてください。

アドバイザーのベンチ入り、タイムアウトを認める。